■球場 葛飾スポーツセンター野球場 第1試合 1回戦

■試合時間 1時間48分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:中衛 塁審:小松 田中 杉田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9				計	安	失
倉敷市工	東中国・岡山	0	0	0	0	0								0	2	9
戸塚	神奈川	8	0	1	10	×								19	9	1

•		ı	

		ポ	ジショ	ョン			氏	名		打	得	安	点	1	2	3	4	5						
1	中		投			福	本	篤	志	2	0	0	0	捕飛		二飛								
2	遊					泉	井	夢	稀	2	0	0	0	一飛			三振							
3	投	_				淺	田	拓	磨	2	0	0	0	三ゴ			三振							
4	Ξ					袁	田	裕	人	2	0	0	0		三ゴ		遊失							
5	_	投	中			満	丸	将	伍	2	0	1	0		中2		三振							
6	右					井	上	耕	史	0	0	0	0		四球									
6				打		坪	井	壱	希	1	0	0	0					三振						
7	捕					長征	川谷	智	紀	2	0	0	0		投飛			三振						
8	_					藤	本	隆	之	1	0	1	0			左安		四球						
9	左					徳	本		翼	2	0	0	0			二飛		投ゴ						
							ĺ																	
	_						合	計		16	0	2	0	残塁	:3	併殺	:0				_			
		•										備	考											

■バッテリー

	投	手		
淺	田	拓	磨	
		将	-	
福	本	篤	志	

捕	手		
長谷川	智	紀	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
淺 田 拓 磨	2/3	12	4	0	5	4
満 丸 将 伍	4	19	5	4	4	2
福本篤志	1/3	4	0	0	1	0

戸塚

		ポ	ジショ	シ		氏	:名		打	得	安	点	1	1	2	3	4	4					
1	中				井	上	健	太	3	2	2	1	左2	捕飛		三犠	二安						
2	Ξ	投			古	田	康	弥	2	1	0	1	四球	死球		三振							
3					平	澤	修	人	2	2	1	4	左2	死球		ΞΪ	四球						
4	捕				松	山		学	3	2	2	4	投飛	四球				中2					
5	-	Ξ			稲	生	大	樹	3	3	1	1	左2	三ゴ				遊失					
6	左				中	後	隆	司	3	3	1	0	三失		三振		右安	四球					
6		_			ハッカテ゛	イデイ	ヷ゚゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゚゚	ティリュウ	0	0	0	0											
7	右				髙	橋	_	騎	4	1	1	1	右安		三振		三振	投失					
8	投	左			抽	田	李	紅	3	2	1	0	四球		Ϊ		三安	三飛					
9	遊				橋	本	悠	大	0	3	0	1	四球			死球	四球						
						合	·計		23	19	9	13	残	塁:4	併肴	殳:1							
-											備	考											

■バッテリー

	投	手		
吉	田	李	紅	
吉	田	康	弥	

	捕手	1	
松	山	学	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
吉田李紅	4	14	2	3	1	0
吉田康弥	1	4	0	2	1	0

■戦評

1回戦葛飾スポーツセンターの第1試合は、5年連続6回目出場の神奈川県代表・横浜市立戸塚高校と26年ぶり15回目出場の東中国地区代表・倉敷市立工業高校の対戦となった。試合は初回から戸塚打線が猛攻を見せ無死二三塁の好機に3番平澤の2点適時二塁打で先制するとその後も5番稲生の適時二塁打や四つの押出四死球などでこの回一挙8点を奪い試合を優位に進める。序盤の内に点差を詰めたい倉敷市工は2回一死から5番満丸が二塁打や四3の押出四死球などでこの回一挙8点を奪い試合を優位に進める。序盤の内に点差を詰めたい倉敷市工は2回一死から5番満丸が二塁打で出塁するも牽制で刺され好機を潰す。3回には先頭の8番藤本が左翼への安打で出塁したが続く9番徳本の二飛で一塁走者が帰塁できず併殺となり攻撃のリズムを作れない。3回に1点を追加した戸塚は4回1番井上の適時内野安打や4番松山の走者一掃の適時三塁打など打塁右14人の猛攻で大量10点を奪い試合を決めた。投げては吉田李・吉田康が倉敷市工打線を2安打完封し、投打に圧倒した戸塚が5回コールド19一0で勝利した。一方敗れた倉敷市工は10四死球に9失策と守りのリズムを欠き本来の野球が出来ず無念の敗戦となった。